

岐阜市「ポストコロナの都市のあり方」

高松市における スマートシティの取組

令和2年11月24日

高松市総務局参事
小澤 孝洋

活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松



平成11年～中核市

総人口	417,814人
世帯数	190,257世帯
面積	375.63 Km ²

(R2.9.1現在)

Shikoku 四国



Takamatsu 高松市



活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松



- 高松市は、香川県の県都、広域都市圏の中心市、四国の中核管理都市として、「活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松」の実現を目指している。



瀬戸内国際芸術祭とは

「海の復権」をテーマに、2010年から3年ごとに開催されるトリエンナーレ

来場者の状況(2016)

- ・海外からの来場者割合 13.4% ← 前回の2.6%より10.8ポイント増
- ・過去の芸術祭への来場の有無 40.9% ← リピーターが全体の約4割

瀬戸内国際芸術祭2019

第4回目となる芸術祭は、4月26日から春・夏・秋の3会期に分けて開催する。

【会期】

- <ふれあう春> 4月26日～5月26日(31日間)
 - <あつまる夏> 7月19日～8月25日(38日間)
 - <ひろがる秋> 9月28日～11月4日(38日間)
- 合計 107日間



【会場】

直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島(春)、本島(秋)、高見島(秋)、栗島(秋)、伊吹島(秋)、高松港周辺、宇野港周辺 瀬戸内海の12の島々と2つの港が会場

松 盆 栽

一大産地の鬼無・国分寺両地区
BONSAIとして世界的人気



庵 治 石

最も硬くて高価な花崗岩 石材加工技術も高く
イサム・ノグチや流 政之もアトリエを構えた



香 川 漆 器

江戸時代から続く伝統工芸
蒔醬、存清など高度な技法が伝承
されているのが特徴

小澤 孝洋

OZAWA Takahiro

【経歴】

- 2011年4月 総務省入省
- 2013年7月 総務省 秘書課
(新規採用担当)
- 2014年7月 総務省 研究推進室
(研究開発・AI等)
- 2016年7月 総務省 消費者行政第二課
(通信の秘密・特殊詐欺対策)
- 2017年4月 内閣官房 IT総合戦略室
(IT戦略策定・デジタルガバメント・オープンデータ等)
- 2019年6月 高松市着任 (現職)
(スマートシティ・情報システム・マイナンバー等)





スマートシティ構想

「スマートシティたかまつ」プロジェクトの推進



ICT・データの活用と多様な主体との連携により、様々な地域課題を解決し、持続的に成長し続ける「スマートシティたかまつ」の実現

スマートシティたかまつ推進プラン（2019～2021）

2017年度～

防災分野

水位センサー等の設置による対応迅速化

観光分野

レンタサイクルを利用する観光客動態の把握

2018年度～

福祉分野

ウェアラブル端末による高齢者見守り

交通安全分野

交通事故ヒヤリ・ハット発生地点の特定

2019年度～

まちづくり分野

商店街への通行量カメラの設置

人材育成

データ利活用人材の育成

業務改革

お悔やみ手続ワンストップ窓口

デジタルデバイド対策

地域住民を対象としたスマホ教室

2020年度以降

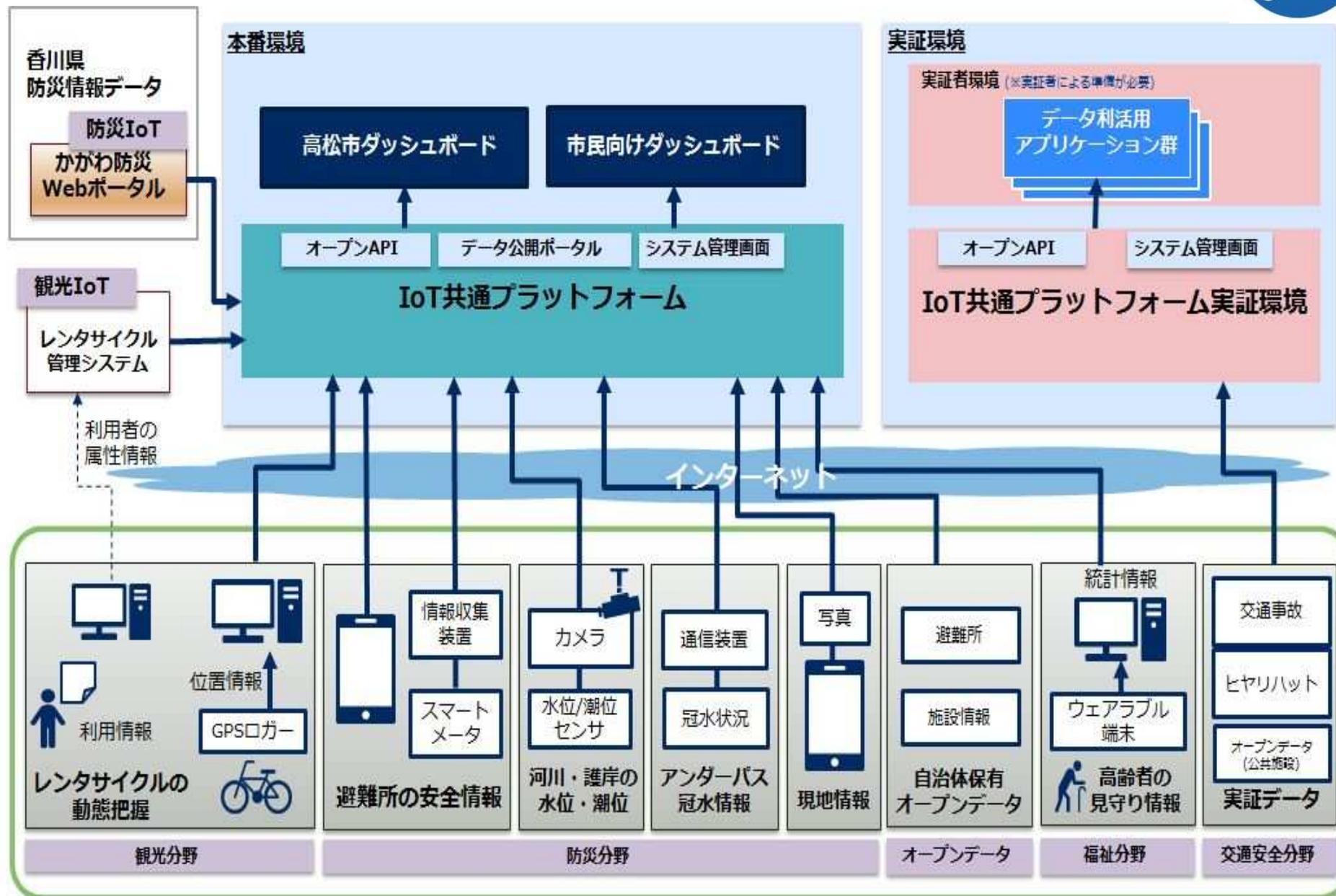
健康分野、デジタルデバイド、行政デジタル化・・・

他自治体への横展開

IoT共通プラットフォーム（FIWARE）【本番／実証環境／ODサイト】



システム全体イメージ





【プロモーションビデオ】

約6分



各分野における取組

防災分野において収集するデータ



水位や避難所安全情報などをセンサーで取得し、早期に安全対策を実施します。

河川・護岸の水位

■ 水位センサー

- 高松市水防計画指定水位観測地点より選定した河川、水路に設置

■ 潮位センサー

- 高松市水防計画指定潮位観測地点より選定した護岸に設置

■ 県防災情報との連携

- 「かがわ防災Webポータル」より水位情報を入手し、県防災情報と地域情報を組み合わせたデータ利活用を実施

避難所の安全情報

■ スマートメーター

- 電力使用量から避難所の開設状況、停電状況を判断

■ スマートフォンアプリ

- 災害時指定職員が、避難所の開設の有無、避難者情報など、避難所の状況を入力

河川・護岸



水位/潮位センサー

通信制御盤



かがわ防災Webポータル

観測地点	観測時刻	水位	潮位
高松川	2023/07/01 08:00	1.2	0.5
高松川	2023/07/01 09:00	1.3	0.6
高松川	2023/07/01 10:00	1.4	0.7
高松川	2023/07/01 11:00	1.5	0.8
高松川	2023/07/01 12:00	1.6	0.9

避難所施設



分電盤



センサー スマートメーター

データの可視化

高松市ダッシュボード



リアルタイムのデータ可視化による早期の災害対策

- 街区における冠水や浸水を可視化
土嚢手配措置、交通事業者への周辺状況通知を実施
 - **氾濫・高潮に対する減災を実行**
- 避難所の使用可否の迅速な把握や避難所周辺エリアの停電確認
 - **住民に対する、より正確な避難に対する発令判断**

制御ボックス、水位センサーを設置する。

- ① 制御ボックスを、既設電柱や既設街灯、壁面等に取り付ける。
- ② 水位センサーを、護岸等（コンクリート面）に固定する。

設置イメージ



制御ボックス設置(例)



水位センサー設置
(例)



防災分野のダッシュボード画面表示



- ・ 収集した情報（水位、潮位、冠水状況、避難所情報等）を地図上にアイコン表示。
- ・ アイコンクリックで詳細情報（測定値、カメラ画像等）を表示。

防災分野のダッシュボード画面表示



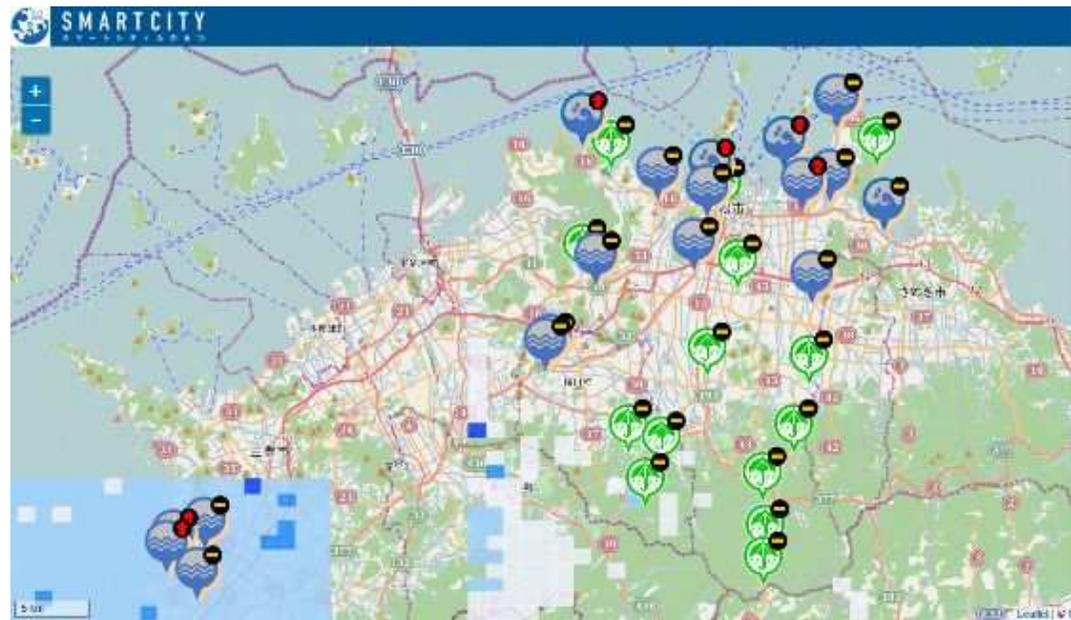
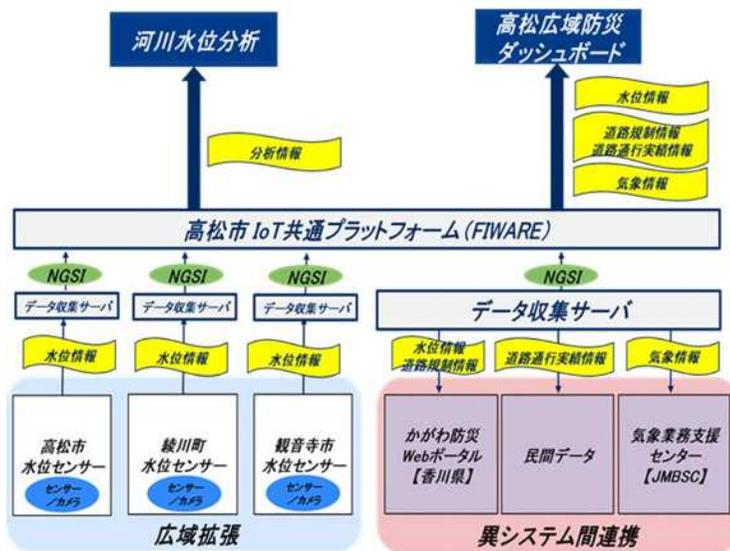


防災分野の広域都市間情報連携



瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の綾川町、並びに観音寺市、スマートシティたかまつ推進協議会の会員である日本電気(株)と連携し、広域で防災情報を共有する仕組み（アーキテクチャ）について、実証研究事業を実施。

※内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術におけるアーキテクチャ構築及び実証研究」（管理人：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO））に日本電気(株)が採択を受け実施。



周辺自治体の水位・潮位データを収集するほか、気象や道路の通行止め情報など、防災・減災に必要なデータも新たに収集し、本市のIoT共通プラットフォーム上に一元的に表示。



災害時に、広域で、迅速に情報を共有

観光分野において収集するデータ



レンタサイクルの利用動態から特に外国人観光客の動態を分析し、施策展開します。

GPSロガーによるデータの蓄積

■ 起終点の把握

- 座標データより、自転車利用の出発地、目的地の位置が把握可能

■ 利用経路・行動範囲の把握

- 座標データより、自転車が通過した軌跡が分かり、走行した利用経路が把握可能

■ 移動時刻・滞在時間の把握

- ログの取得時刻により、移動時刻や到着時刻、目的地における滞在時間が把握可能

利用者登録

■ 利用者属性・目的等の把握

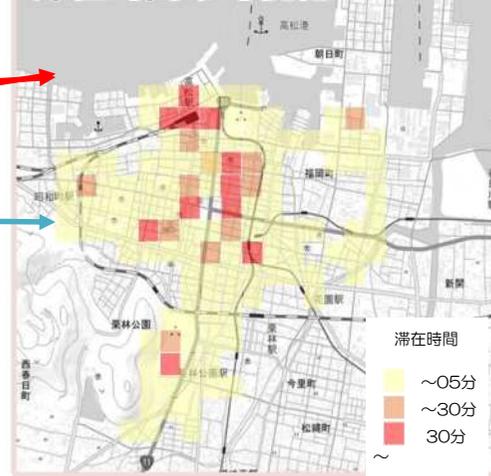
- 利用者登録より、利用者属性(性年代、国籍) や利用目的を把握

データの可視化

出発地・目的地・移動経路の可視化



滞在時間の可視化

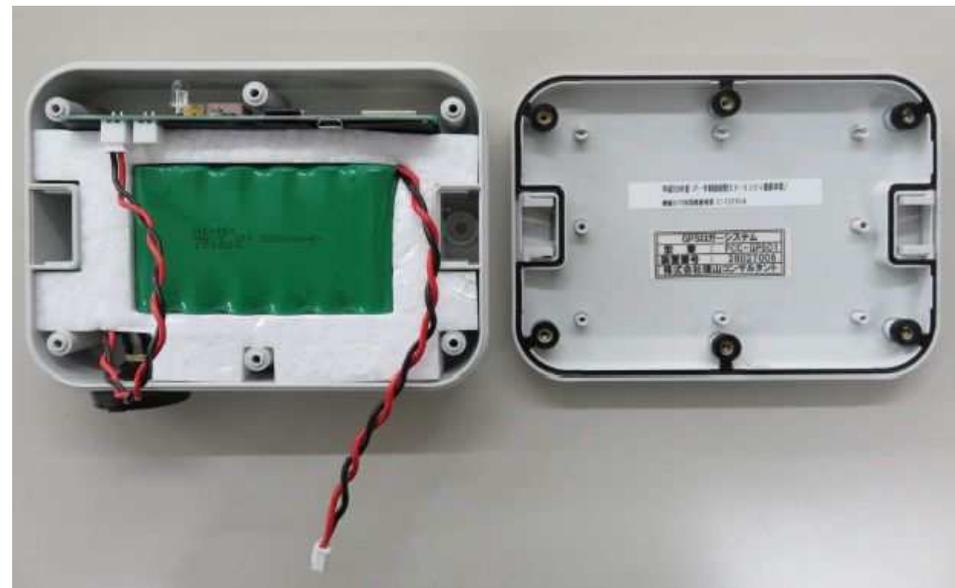


観光・MICEの振興

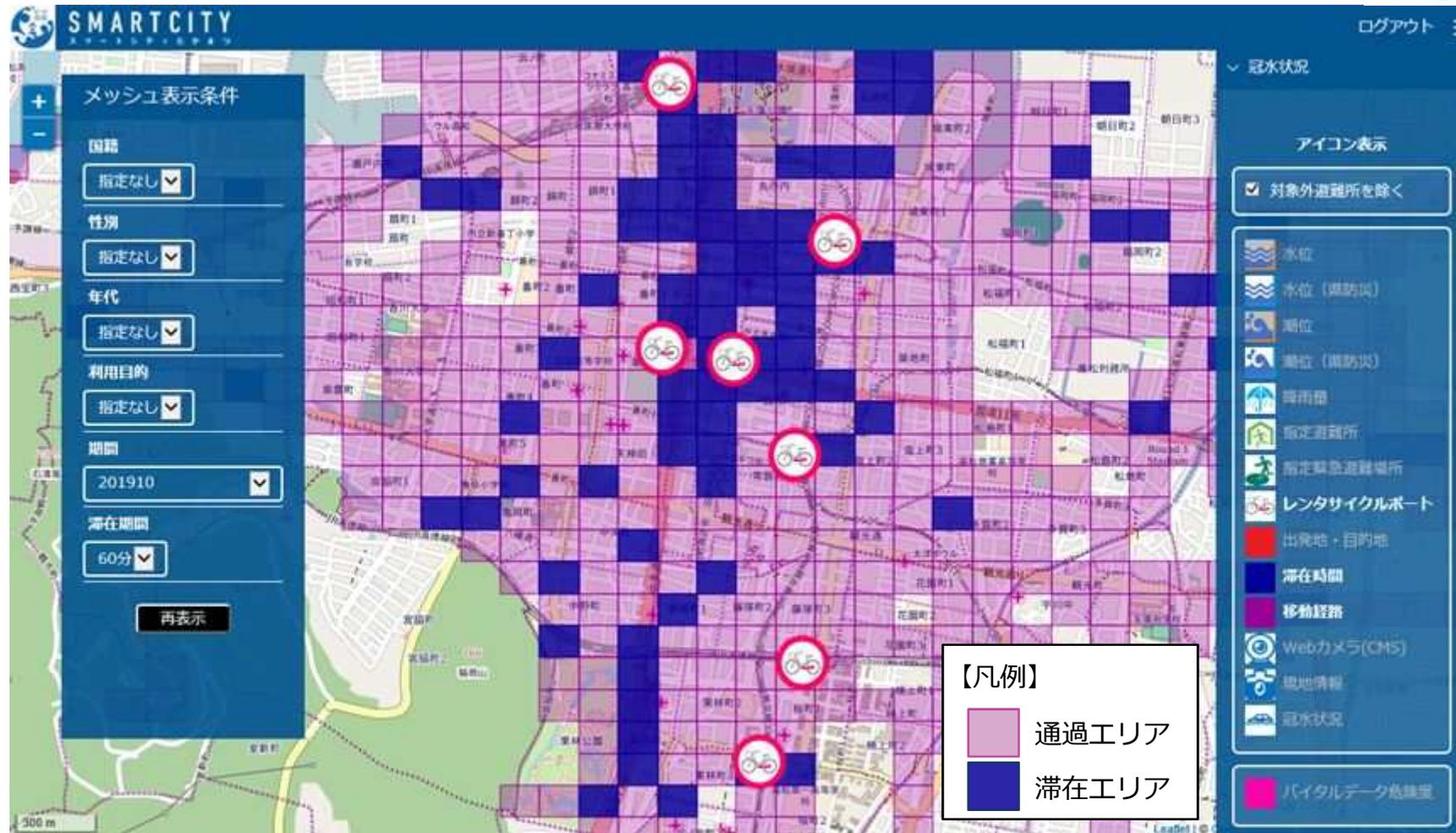
- レンタサイクルを使用する外国人観光客の訪問先を把握し、多言語対応
- レンタサイクルを使用する観光客の訪問先を把握し、新たな観光資源を発掘

- **上記により、高松を訪れる観光客の満足度向上や、新たな観光資源を活用した観光施策を展開**

市直営レンタサイクルの自転車1,250台のうち、50台にGPSロガーを取り付ける。



観光分野のダッシュボード画面表示

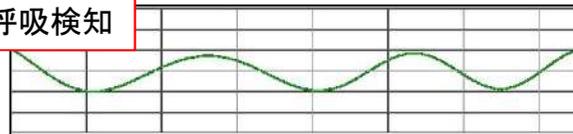


- ・ 利用者の出身内訳は韓国（42%）、中国（23%）、台湾（13%）、香港（13%）等
- ・ 韓国・中国はショッピングの目的地が多い、欧米・香港は周遊範囲が広い、台湾は周遊範囲が狭い等、一定の傾向が観測できる。

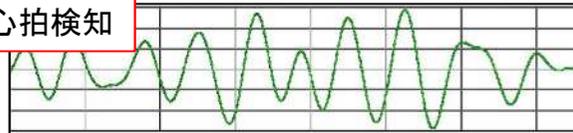
- 高齢者見守りへのICTの活用として、香川高専、(株)ミトラとの連携協定に基づいて、呼吸や心拍等のバイタル情報が把握できるウェアラブルIoT機器を開発し、ICTを活用した地域包括ケアシステムの構築を推進。
- 「地域一体型バーチャルケアによる介護予防推進事業」として、平成30年度総務省「IoTサービス創出支援事業」に採択。



呼吸検知



心拍検知



緯度経度



加速度(転倒等の姿勢検知)



((株)ミトラ資料)

IoTサービスのアピールポイント

得なかこれ
がバつれ
可能イた
タまで
ル把握
テタ
ーで
タ正
取確
取確な

な A
状態ー
予測分析
による
正確

① 衣服の上から使用可能
(高齢者の負担が少ない)



利用者の増加による
事業の推進

② 位置・姿勢・体温を同時に測定
(転倒・徘徊への速やかな対応が可能)



高齢者の
安全確保・事故予防

③ 複数の人が同時にデータ確認
(家族・地域の人の見守り負担が
軽減・高齢者が安心)



見守り体制の複層化

④ スマートシティ共通プラットフォームに
データを蓄積(AI分析で事故予防・病
気の早期発見・早期治療)



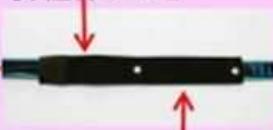
医療・介護分野など
様々な分野での応用

バイタルデータ取得



特許センサ
(取得・申請中)

弾性体(ゴム)



圧電フィルム(内蔵)

衣服上から測定可・・・洗濯頻度減
激しい動作時・・・データ取得可能

センサ

位置情報測定
(GPS・みちびき対応)

姿勢状態測定
(3軸加速度センサ)

その他のセンサ例
体温測定(熱中症・体調)
(温度センサ・相対値測定)

特許センサ

- 感度が高く衣服上で測定可
- 装着が簡単
- 高齢者の負担が少ない
- 正確で安定した計測
- シンプルで壊れにくい
- 他製品に比べて廉価



センサ

- 徘徊時の位置情報取得
- 正確な姿勢状態の把握
- その他センサによるデータ

■ 実証実験の様子

高松市主催の健康講座受講者
(比較的元気な高齢者)

実施日：10月14日

場 所：瓦町健康ステーション (高松市瓦町)



【受付にて機器を装着】

【講座前に基本動作を測定】



【講座中の測定】

高松市内の通所介護事業所の利用者
(介護保険の要支援・要介護認定者)

実施日：10月15日

場 所：エデンの丘デイサービスセンターえんがわ(高松市鶴市町)



【デイサービスでのラジオ体操1】



【デイサービスでのラジオ体操2】



【スタッフによる測定・記録】

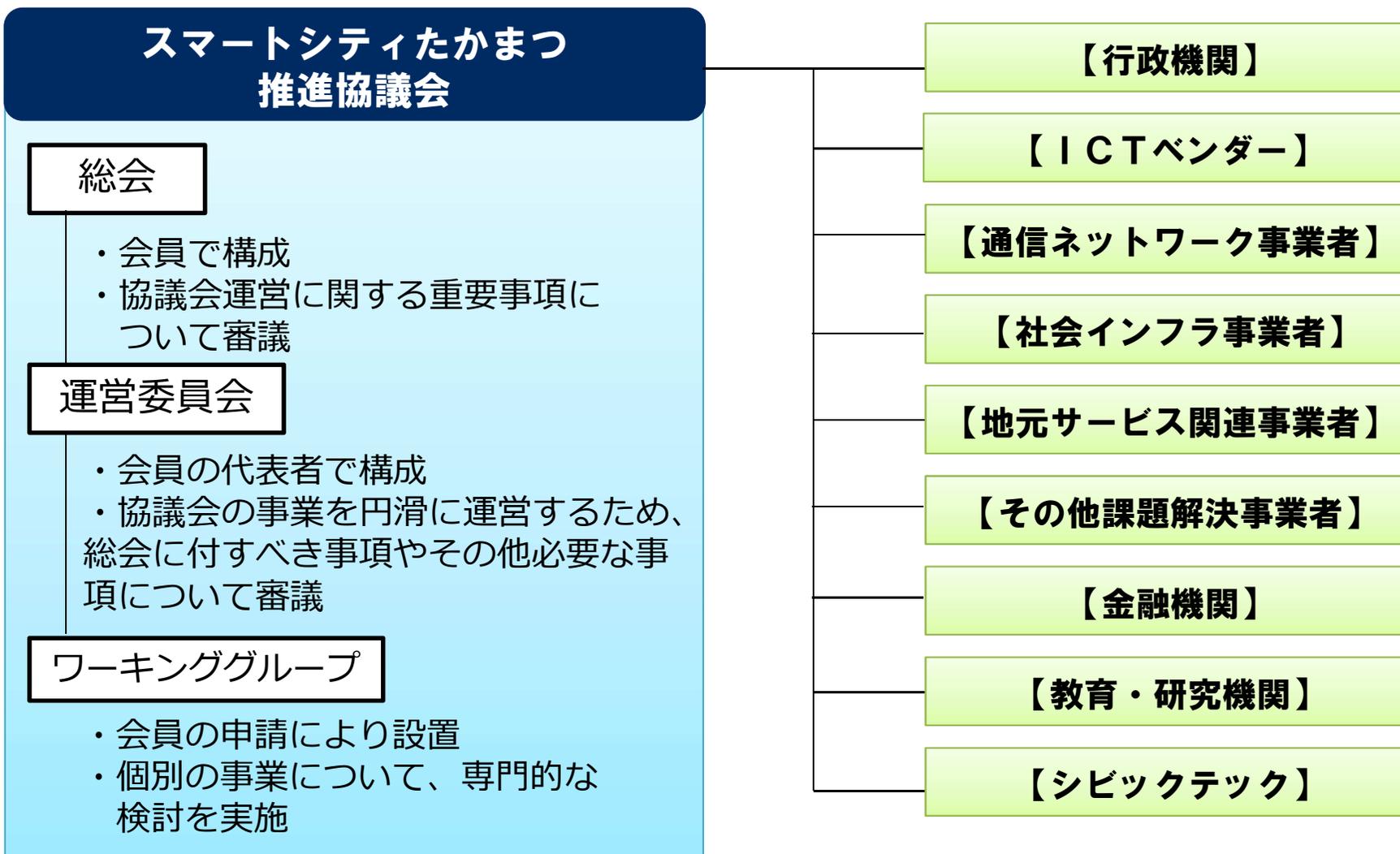


産学民官連携の仕組み

スマートシティたかまつ推進協議会の設立



- 平成29年10月に、産学民官の連携を通じて、共通プラットフォームを活用した、官民データの収集・分析による地域課題の解決を目指し、スマートシティたかまつ推進協議会（会長・大西高松市長）を設立。



スマートシティたかまつ推進協議会 会員概要



○会員 **92者**、オブザーバー3者（令和2年11月現在）

スマートシティたかまつ推進協議会

【行政機関】

高松市
総務省(オブザーバー)
経済産業省(オブザーバー)
香川県(オブザーバー)

【社会インフラ事業者】

四国電力(株)
高松琴平電気鉄道(株)
(株)四国ガス高松支店
高松空港(株)
全日本空輸(株)

【通信ネットワーク事業者】

(株)STNet
西日本電信電話(株)香川支店
ソフトバンク(株)
KDDI まとめてオフィス
西日本(株) 四国支社
(株)NTTドコモ 四国支社

【ICTベンダー】

日本電気(株)四国支社
富士通(株)四国支社
(株)セールスフォース・
ドットコム
(株)四国日立システムズ
(株)富士通四国インフォテック
T I S (株)
リコージャパン(株)香川支社
NTTコミュニケーションズ(株)
L I N E (株)
アライドテレシス(株)四国支社
インテル(株)
(株)トラストバンク
(株)マチマチ
富士ソフト(株)
(株)NTTデータ四国
四国システム開発(株)高松事務所
三菱電機株式会社 四国支社
(株)テクノプロ
テクノプロ・IT社 高松支店
ヴィエムウェア(株)

【教育・研究機関】

国立大学法人香川大学
独立行政法人
国立高等専門学校機構
香川高等専門学校
高松大学
専門学校
穴吹コンピュータカレッジ
サンステップ

【金融機関】

(株)百十四銀行
(株)香川銀行
損害保険ジャパン日本興亜(株)
高松支店法人支社
(株)三井住友銀行高松法人営業部
三井住友海上火災保険(株)
東京海上日動火災保険(株)
あいおいニッセイ同和損害保険(株)

スマートシティたかまつ推進協議会 会員概要



○会員 **92者**、オブザーバー3者（令和2年11月現在）

スマートシティたかまつ推進協議会

【地元サービス関連事業者】

(株)ミトラ
(一財)百十四経済研究所
高松丸亀町商店街振興組合
(有)電マーク
サイテックアイ(株)
(株)DynaXT
(株)イノベイト
(株)フソウ
山田電建(株)
エフエム高松コミュニティ放送(株)
Plus Image
(有)ケノヒ
カトーレック(株)
(株)ロジック
アイディオ(株)
(株)みどり医療経営研究所
(株)みどりデジタルサポート
セーラー広告(株)
三電計装(株)
シティ興産(株)
穴吹エンタープライズ(株)
(株)穴吹ハウジングサービス

(株)フソウメンテック
シンボルタワー開発(株)
(株) AsKey
(株) Dreamly

【その他課題解決事業者】

(株)福山コンサルタント
(一社)データクレイドル
総合警備保障(株)香川支社
(一社)日本自動車連盟香川支部
出光興産(株)
(株)電脳交通
協和テクノロジーズ(株)
(株)電信
(一財)日本気象協会四国支店
(株)協和エクシオ四国支社
凸版印刷(株)
(特非)ITS Japan
日本工営(株)四国支店
(株)日本新電力総合研究所
三信電気(株)
ARPA WebConsulting

三菱UFJリサーチ&
コンサルティング(株)
xID(株)
(同)側用人
アクセンチュア(株)
(株)中国四国博報堂高松支社
三井物産(株)四国支社
(株)電通西日本高松支社

【シビックテック】

Code for Sanuki
IoT ALGIAN 香川支部

協議会における検討状況



(平成29年10月設立)

スマートシティたかまつ推進協議会

(平成30年2月～8月)

交通事故撲滅WG

・交通マナー向上を図るため、営業車等のドライブレコーダーに記録されたビッグデータを収集・分析

(平成30年5月～)

地域ポイントを活用した健康経営WG

・健康経営のインセンティブとして企業が付与する地域ポイントの用途と効果の分析方法を検討

(平成30年2月～8月)

交通データ流通活用WG

・交通事業者の時刻表等のデータを統一フォーマット(GTFS)に変換し、更なる活用可能性を検討

(平成30年8月～)

観光情報利活用WG

・散在する観光情報を利活用するための方法及び観光客の満足度向上につながる情報発信の方策を検討

(平成30年5月～令和元年8月)

防災IoT活用WG

・既存の水位・潮位データ等に加え、効果的な防災IoTの拡充策を検討

(令和元年5月～)

人材育成環境向上WG

・ICT・データ利活用人材の育成環境の向上策を検討

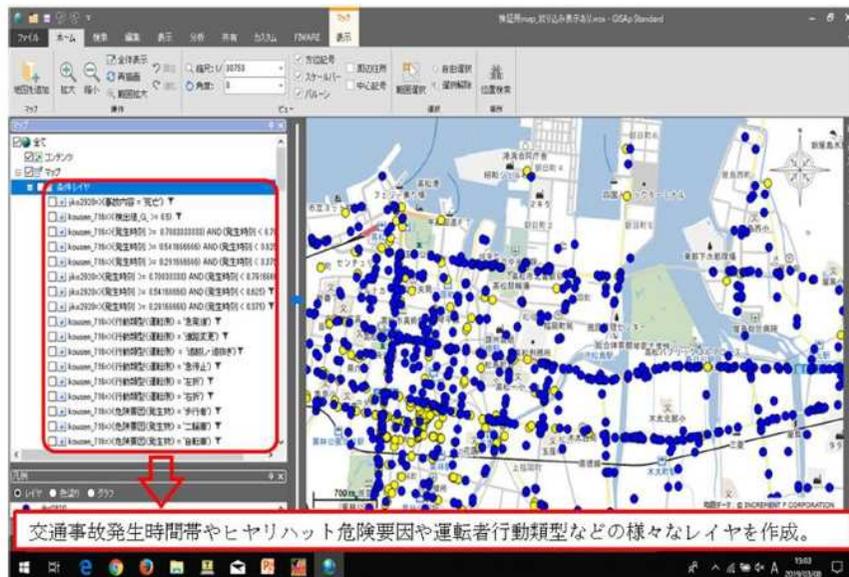
ワーキンググループにおける検討例①

交通事故撲滅WG



- ドライブレコーダーの動画データ（民間企業提供）を分析して特定する危険要因データと、交通事故データ（香川県警提供）や公共施設データ等のオープンデータ（高松市提供）を一元的に表示した**危険要因マップ**を作成し、自治体・事業者の研修等において活用。
- また、運転中のドライバーに対して、交通事故危険度が高いと推定される区域及び周囲環境（オープンデータ）の情報を**スマートフォンの専用アプリ（音声のみ）**で提供し注意喚起。

※総務省「オープンデータを活用した地域における交通分野の課題解決に資する調査研究に係る請負」を活用

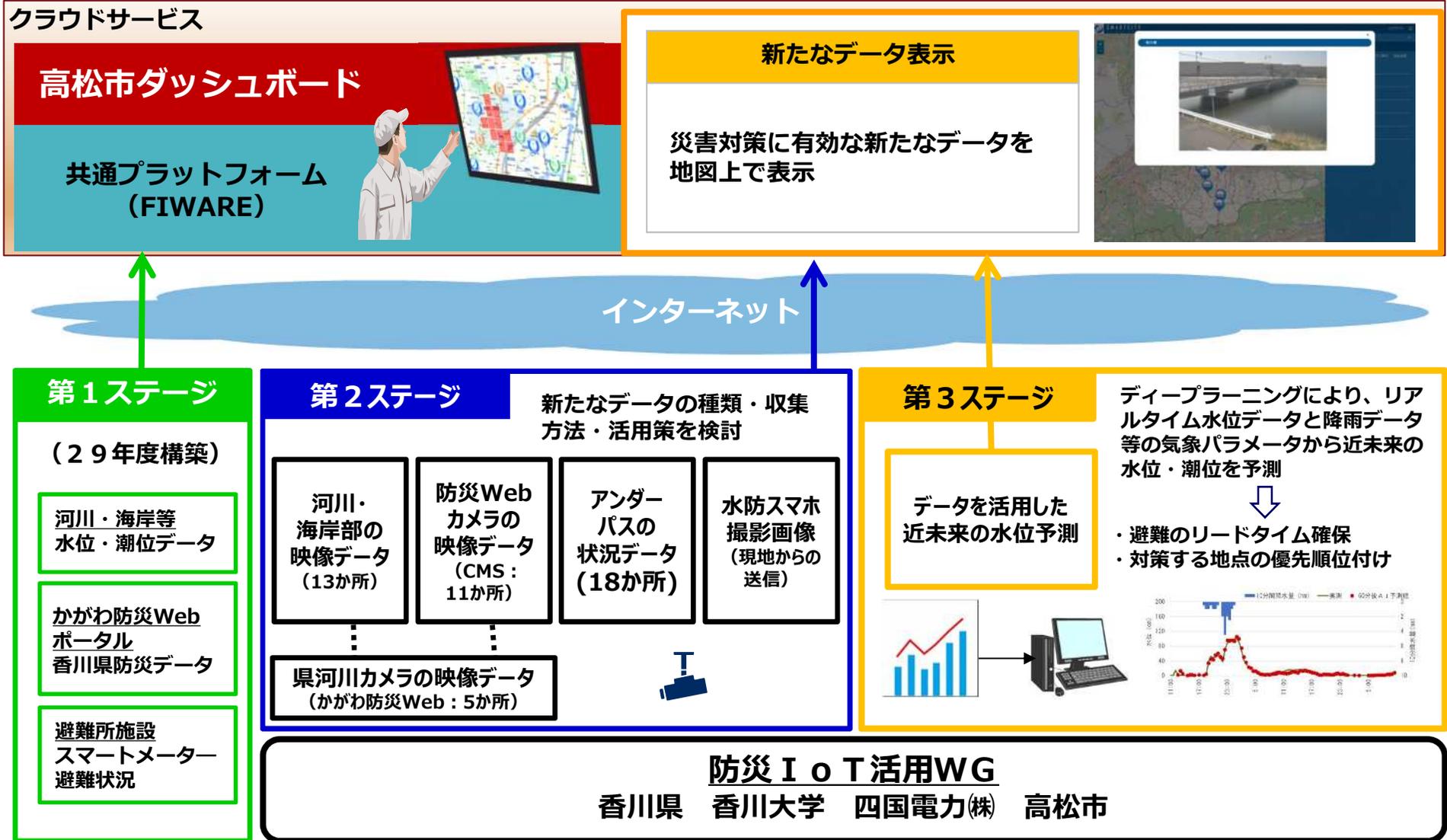


2019年3月7日NHK

ワーキンググループにおける検討例② 防災IoT活用WG



新たなデータを活用し、効率的・効果的で迅速な災害対応を目指す



ワーキンググループにおける検討例③ 人材育成環境向上WG



アイデアソン・ハッカソンなどの手法・内容等や、実証事業・社会実装に向けた協議会としての支援の仕組みについて検討し、ICT・データ利活用人材の育成環境の向上につなげる。改善した手法・内容等でアイデアソン・ハッカソンなどを開催し、企画内容等の高度化、参加者の増加を実現する。

ワーキンググループメンバー

香川大学、香川高等専門学校、e-とぴあ・かがわ、香川県、IoT ALGYAN、Code for Sanuki、日本電気（株）、高松市

これまでの取組

- 本市、NEC、STNet、香川大学、香川高等専門学校の5者による基本合意（H29年度）
 - ①IoT共通プラットフォーム（FIWARE）実証環境の構築（H30年度）
 - ②人材育成 ⇒ アイデアソン・ハッカソンなどの開催、協力

アイデアソン・ハッカソンの開催のみで終了し、その後の展開につながらない

目指す地域課題解決に向けた新たなスキーム

企画内容や
高度化への検討

アイデアソン
(ハッカソン)
等の開催

オープンデータ等の
整理・収集方法の検討

地域課題解決に
つながる
アイデアの創出

実証事業・社会実装につながるいいアイデアの増加

実証事業

実証事業・社会実装に向けた
支援策の検討

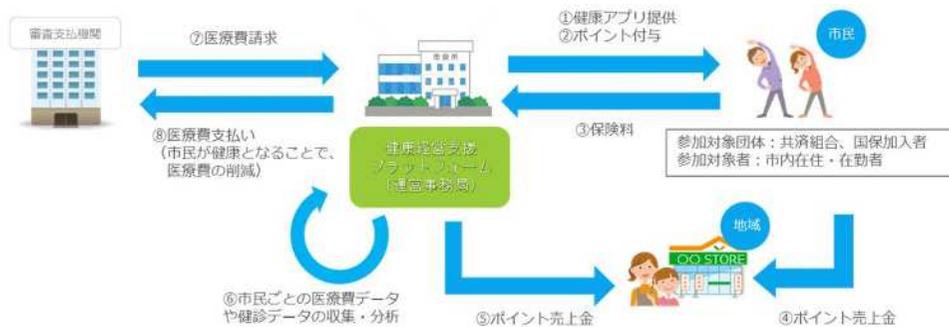
社会実装

ワーキンググループにおける検討例④ 地域ポイントを活用した健康経営WG



市民の健康増進と医療費削減を目的として、歩数や特定健診受診等に対してポイントを付与するインセンティブ制度を活用した健康づくりを通じて、市民の自主的な健康行動を促進する。

目指す事業スキーム



ワーキンググループメンバー

サイテックアイ(株)、日本電気(株)、ソフトバンク(株)、(株)百十四銀行、高松市

健康アプリにおいて、健診結果や運動・食事など健康づくり関連情報を提供し、市民一人ひとりの健康意識を高め、健康的な生活習慣を促す。

市民ごとの医療費データや健診データの情報を収集・分析し、市民への効果的な健康づくりや医療費の適正化につなげる。

これまでの検討状況

- ①どのような健康の取組が、生活習慣病の予防・改善により効果があるか
- ②どのような仕組みが、積極的な生活改善や保健指導への参加の動機付けとなるか

歩数の計測や食事の内容等を計測する健康アプリを使い、日々の運動・食事データを管理することで、生活習慣病に関連の深い検査値へどのような効果を与えるか、実証実験の実施を含めて検討する。

スマートシティ実証環境の構築



- 29年度に構築した共通プラットフォームについて、30年度、
 - ・産学民官の多様な主体が自由にデータを活用できる実証環境、
 - ・既存のオープンデータと合わせて市民向けオープンデータポータルサイトを構築し、令和元年度5月運用を開始。

30年度構築

オープンデータサイト

観光施設 保育所

「オープンデータたかまつ」
(令和元年8月15日)
台風10号接近時→3,326アクセス

29年度構築

共通IoTプラットフォーム

共通プラットフォーム

水位・潮位 避難所 レンタサイクル

実証に活用可能なデータ

30年度構築

実証環境

協議会会員等

sandbox

実証環境

多様な官民データ

令和元年度の利用者数:9者

人材育成に向けた取組（高松市 連携・協力分）



「地域情報利活用アプリ開発講座－まちのデータ研究室－」

＜令和元年7月～10月＞

主催：eーとぴあ・かがわ

様々なデータを利活用したアプリ開発を通じて、市民のデータ利活用に関する興味・関心やデザイン力を高める



「かがわICTまちづくりアイデアソン2019」＜令和元年12月＞

主催：香川大学

ICTを用いた次世代のまちづくりのためのアイデアやサービス創出を目指す



「Web×IoT メイカーズチャレンジ」

＜令和元年11月、12月＞

主催：四国総合通信局

ハッカソンを通して、若手IoTエンジニアのスキルアップを目指す



「たかまつ子育てアプリワークショップ」＜令和2年3月(中止)＞

主催：スマートシティたかまつ推進協議会

地域課題の解決と、ICTを活用した新しい価値創出を目指し、アプリ開発体験を行う





日時:2019年6月1日(土) 13:30-17:30 / 会場:情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ BBスクエア

主催:スマートシティたかまつ推進協議会

対象:協議会会員企業・団体を含む一般市民(来場者約100名)

■特別講演:「社会全体のデジタル化とその先の日本」 平井 卓也 IT・科学技術担当大臣

■パネルディスカッション:先進自治体からの取組紹介及び産学官関係者によるパネルディスカッション
「デジタルイノベーションへの挑戦-産学官連携のこれから-」

コーディネータ:高松大学・高松短期大学学長 佃 昌道 氏

パネリスト:会津若松市副市長(福島県)齋藤 勝 氏 会津大学准教授 難波 雅善 氏

加古川市長(兵庫県)岡田 康裕 氏 総合警備保障株式会社 羽生 和人 氏

高松市長 大西 秀人 氏 株式会社STNet取締役 田口 泰士 氏 香川大学副学長 白木 渡 氏

■データ利活用ワークショップ:シンポジウム参加者でグループディスカッション
「産学官連携を進める上での課題と解決策」

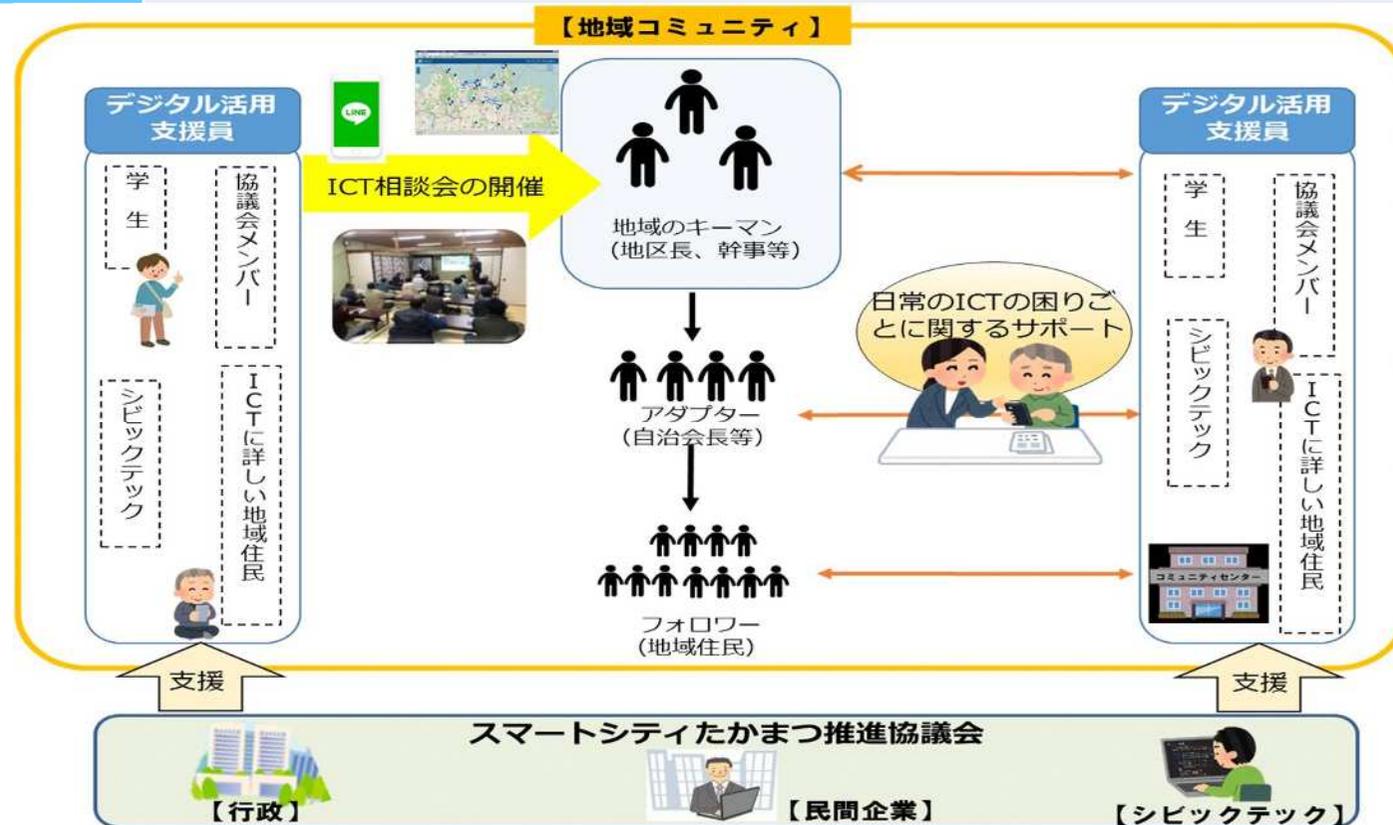


スマートシティたかまつ 2ndステージに向けて

★デジタル活用支援員推進事業（R2 総務省地域実証事業採択）

事業概要

高齢者等、ICTを十分活用できていない人が、地域の身近な人から学べる「デジタル活用支援員」体制の構築に向け、支援員の組成や支援員による相談会の開催、日頃から支援員に気軽に相談できる仕組みづくりについて検討、試行する中で、支援員が継続して活動していくための協議会及び行政の役割や効果的な支援内容を明確化することで、他の地域に展開できるモデルをつくる。



市民投稿システム「My City Report」の導入



● My City Report とは

千葉市で2014年秋から運用を開始した「ちばレポ」に改良を加え、2019年4月から全国の自治体での共同利用が可能になった市民投稿サービス。

【通常時】

道路の損傷など、まちの困りごとを市民から写真や位置情報とともに投稿受付（10月1日からスタート）

【災害発生時】

協議会会員企業が提供するサービス（電気・ガス・通信等）の復旧作業時等に把握した災害発生状況（道路の通行止め、河川の氾濫、家屋等の倒壊等）について投稿受付



アプリの使い方は、こちらから（市HP） ⇒



アプリのダウンロードは、こちらから ⇒



AppStore



GooglePlay

目的

高松市の行政デジタル化に向けたグランドデザインを検討する。

【重要な論点】

- ① 高松市の目指す行政像(基本理念・目標設定)
- ② 市の業務改革に向けた窓口・手順・システムの棚卸調査の実施
- ③ 市のデジタルガバメントのプラットフォームの在り方

構成員

- 【座長】 高松大学 佃学長
- 【座長代理】 高松市 小澤
- 【運営委員】 STNet、NEC、NTT西日本、百十四銀行、NRI、
四国電力、香川大学、香川高専
- 【民間企業】 スマートシティたかまつ推進協議会会員企業
- 【高松市】 ICT推進室、情報政策課、行政改革推進室
- 【ゲストスピーカー】 関係企業の取組紹介、市民目線からの意見収集等

設置期間

令和2年8月～令和3年3月(予定) ※ 検討状況に応じて延長

目的

コロナ時代に対応した行政デジタル化を急速に進めるに当たり、行政手続・窓口・システム等の実態を詳細に把握し、デジタル化の重点分野や優先順位を決定するため、悉皆調査を実施する。

調査概要

■ 調査対象部局： 全部局

■ 調査対象手続： 各所属が所管する全手続(※)

※ 年間100件以上かつ市民や事業者から受付をしている申請や届出等の手続すべて

■ 調査時点： 令和2年3月31日

(年間件数は、原則、平成31年4月1日～令和2年3月31日)

■ 調査期間： 令和2年9月～10月(その後、必要に応じて深堀調査)

■ 主な調査項目

- ・ 基本項目(名称、種別、根拠、内容、手数料、件数等)
- ・ 手続実態(対面の有無、電子申請の有無、郵送対応の有無、押印の有無、添付書類等)
- ・ 窓口実態(繁忙期の有無、標準処理期間、主な手続き利用者等)

調査主体

スマートシティたかまつ推進協議会 手続棚卸タスクフォース
(高松市、NTTコミュニケーションズ、NEC、STNet)

【集計中】 手続数：合計362件、申請見込件数：合計約217万件

スーパーシティ準備チームの設置



目的

高松市における社会全体のデジタル化の実現を目的とし、「スマートシティたかまつ」の取組を更に発展させ、「スーパーシティ」構想への提案を目指し、迅速に庁内横断的な検討を行うため、高松市スーパーシティ準備チームを置く。

庁内公募

前例や現行制度、組織・縦割りにとらわれず、多様な意見を反映できるような、意欲的な職員を庁内公募により選定。

- 応募資格 課長補佐級以下の本市職員
- 募集期間 令和2年10月13日～20日

メンバー

- リーダー 総務局参事
- サブリーダー ICT推進室長
- メンバー 庁内公募により選定された14名の職員
- アドバイザー 合同会社側用人 山口 功作氏
(デジタルガバメント推進特別WG 構成員)
- 事務局 ICT推進室

結成日

令和2年11月6日(金)

チーム愛称

高松DAPPY

**Digital Alliance which is
Potential, Powerful and Youthful**

**ポテンシャル、パワー、若々しさを兼ね備えたデジタル同盟
DAPPY=脱皮**



デジタルガバメント
推進特別WG

**行政
デジタル化**

**データ
連携
基盤**

IoT共通プラットフォーム
(FIWARE)

**デジタル
デバイス
対策**

デジタル活用支援員
推進事業 地域実証

スマートシティたかまつ 2ndステージ



ご清聴ありがとうございました



気持ち  まる、高松。